

第 3 学年 英語科学習指導案

1 単元名 Unit 5 Cell Phones - For or Against?

2 単元の目標

あるテーマについて、自分の意見を話したり他の意見を聞いたり読んだりして論点を読み取る活動を通して、現在分詞及び過去分詞による後置修飾、及び間接疑問文の形・意味・用法を理解し、表現することができる。

3 単元の評価規準

関心・意欲・態度	表 現	理 解	知識・理解
関心のあるテーマで、自分なりの意見をまとめ ている。	後置修飾を用いて、伝えたい内容を相手に説明している。	教科書本文や、他の意見を聞いたり読んだりして、理解している。	新出単語や重要文を読み書きできている。

4 単元と指導の構想

(1) 単元と生徒

本単元では、現在分詞及び過去分詞の後置修飾及び間接疑問文が主な言語材料である。これまでの名詞の修飾は形容詞による前置修飾のみであり、生徒はそれほど抵抗なく理解することができた。現在分詞及び過去分詞の後置修飾に始まり、この後の関係代名詞による後置修飾につながっていき名詞修飾の表現の幅が大きく広がる。言語活動の場面を多く設定し、定着させたい。前々課で、不定詞による名詞の後置修飾が初出となったが、"things to do"のように定型表現的な扱いとした。これに対し、現在分詞及び過去分詞の後置修飾は、共出する名詞は様々であり、単なる口慣らしだけでは定着が難しいと予想される。また、現在分詞と過去分詞を用いている点で、be 動詞と共に用いる現在進行形（1 年時学習）や受動態（3 年時 Unit1 で学習）と混同してしまいがちである。

また、これまでは直接疑問文のみを扱ってきたが、間接疑問文が初出となる。前単元で「疑問詞＋動詞の原形」を学習し、直接疑問文ではない文で疑問詞が出てくる文を習った。

間接疑問文を学習する際は、「疑問詞＋動詞の原形」と同様に名詞句として扱われることに触れ、理解の手助けとしたい。

各単元で、教師と生徒で、または生徒と生徒での会話を含む活動を取り入れている。話す活動での意欲的な態度の継続を促しながら、英語を用いて表現することの楽しさを味わわせ、目標文の定着を図りたい。

(2) 指導の構想～自己研修テーマとのかかわり～

自己研修テーマは、「生徒全員が積極的に参加する授業～生徒に力をつける授業をめざして～」である。英語に限らず授業の前提として、生徒全員が参加することが条件となる。「指示を明確に出し、全員に伝わったことを確認してから進める」、「見本を示し、具体的にどうすれば良いかを伝えてから活動に入る」など、生徒が何をすればよいかを理解し、また取り組んでいることを確認しながら授業を進めることを意識して進めていく。そして、毎時間の授業が終わるごとに「今日はこれができた」というような達成感を感じさせる授業を展開したい。そうした授業を積み重ね、生徒の学力向上を図っていかうと考えている。

5 単元の指導計画（全9時間，本時3／9時）

次 時数	学習のねらい（○）と主な活動内容（・）	評 価				
		関	表	理	知	評価規準
一次 2	○ 現在分詞及び過去分詞による後置修飾の形 ・意味・用法を理解し、表現できる。 ・現在分詞及び過去分詞の後置修飾を用いた文を聞いたり読んだりして理解する ・教科書本文を読んで理解する ・現在分詞及び過去分詞の後置修飾を用いて、伝えたいことを表現する	○	○			・現在分詞及び過去分詞の後置修飾を用いて、伝えたいことを表現しようとしている
二次 2 (本時 1/2)	○ 間接疑問文の形・意味・用法を理解できる。 ・間接疑問文を用いた文を聞いたり読んだりして理解する ・教科書本文を読んで理解する			○	○	・間接疑問文を聞いて理解する ・間接疑問文について知識がある
三次 2	○ 携帯電話の使用を巡る各々の意見について、自分なりの考えをもつことができる。 ・教科書本文を読み、内容や論点を正確に読み取る			○		・教科書本文を読んで、要旨を読み取る
四次 2	○ 携帯電話の使用について考え、自分なりの意見をまとめることができる。 ・論点を正確に読み取り、自分自身の意見を書くことができる	○	○			・自分なりの意見をまとめ、表現しようとしている
五次 1	○ Unit テスト ・現在分詞及び過去分詞の後置修飾と間接疑問文の文法問題テストを行う				○	・現在分詞及び過去分詞の後置修飾と間接疑問文についての知識がある

6 本時の学習

(1) 本時のねらい

間接疑問文の形・意味・用法を理解し、間接疑問文を用いた文を読んだり書いたりすることができるようになる。

(2) 本時の構想

視覚教材を用いて説明やドリル練習を行い、生徒の集中力を持続させ説明を分かりやすくする。

(3) 本時の展開と評価

活動	主な教師の働き掛けと生徒の反応	指導上の留意点と評価
復習 (7 min)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本時の流れを説明する ・ 現在分詞の後置修飾について確認する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>「The 名詞 (boy/girl など) + 動詞 ing ~」 に当てはめ絵について描写しましょう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ ペアでチームとなり，どちらか一人が答える 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 使用する文構造を掲示する。
導入・ 練習 (13min)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 復習で用いた絵について質問をし，間接疑問文を導入する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>What does Taro like ? Do you remember ? Do you remember what Taro likes ?</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>今用いていた英文は，何を聞いているか分かりますか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 視覚教材に沿って説明を聞く ・ パターンプラクティスを行う 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 引き続き，ペアのチームで行う。 ○ 数枚の絵について尋ね，数種類の間接疑問文を聞かせる。 <p>【評価（理解）】 間接疑問文を含む文を聞いて，内容を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 視覚教材を用いて説明する。
reading (20 min)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新出単語の確認，発音練習 ・ 本文内容の確認 	<ul style="list-style-type: none"> ○ フラッシュカード ○ ワークシート

	<p>ワークシートの設問に答える。答え合わせの際、教科書本文の該当箇所と照らし合わせながら説明をする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本文の音読練習 →モデルの対話を聞く →語・句・文の単位で一斉の発音練習 ・間接疑問文が使われている文脈を再確認し、次時の活動につなげる →次時、各ペアでの発表活動について伝え、練習時間を与える 	<p>【評価（理解）】 間接疑問文を含む文を読み、内容と使われている文脈を理解している。</p> <p>○ 視覚教材を用いて説明する。</p>
<p>まとめ (10 min)</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p>間接疑問文の文法問題を解いて、どれくらい理解できたか確認しよう。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートに取り組む ・答え合わせを行う ・ワークシートのアンケートに答える 	<p>○ スクリーンに、間接疑問文の構造を示し、理解の一助とする。</p> <p>○ 答え合わせは、時間を見て宿題とする。</p> <p>【評価（知識）】 間接疑問文の構造を理解し、問題が解けている。</p>